

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2022年 2月 5日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」女池神明校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	0	法令を遵守したスペースを確保しています	
	②	職員の配置数は適切である	3	1	法令で必要とされる配置数を確保しています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	1	事業所内はカーペットを敷き、転倒時の衝撃を防いでいます。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	1	支援スペース及び教材室はすっきりと整理した状態を保っています。	活動に合わせてスペースを工夫しています。（机の配置等）
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	0	適時ミーティングや管理者会議を開き、業務改善を行っています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0	保護者様へ満足度調査アンケートを実施し、業務改善につなげています。	保護者様の意向を把握し、今後の業務改善につなげていきます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	当社 HP にて公開しています。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2	現在は、利用者・社内の2者評価をとっております。第三者による外部評価については、現在実施の予定はありませんが、今後必要に応じて実施を検討してまいります。	

	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	1	内部組織「発達支援研究所」を中心に ZOOM 研修や資料の配布等が定期的に行われています。	市町村が開催する研修も、日程を調整しながら可能な範囲で参加していきます。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	0	計画期間ごとにアセスメントを行った上で個別支援計画を作成しています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	0	統一したアセスメントシートを使用しています。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	0	「発達支援」「家族支援」については、必要な項目をできるだけ適切に選択し、具体的な支援内容を設定しています。	「地域支援」については、課題が残るので、相談支援員と連絡を取りながら、必要な「地域支援」を探っていきます。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	0	指導員⇄児発管⇄保護者双方でよく連絡を取り合い、児童発達支援計画に沿った支援を行っています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0	お子さまの事例を共有・議論するケース検討会を開催しています。	特に小集団の活動プログラムの立案をする時など、より楽しい活動プログラムを事業所内で検討してまいります。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	お子さま一人ひとりの特性や気持ち・興味に合わせて、効果的に楽しく学べる指導を追求します。次の学びにつながる成功体験を重視し、やりたくないことをやらされるのではなく、お子さまが自発的に適切な行動をとったり、学びやすい指導環境をつくれます。	

	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	4	0	個別だけでなく、関わりが必要な発達段階の児童は、1時間の中で時間を決めてお互いに関わるなどの工夫をしています。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0	時間の許す限り毎朝打ち合わせをして支援内容・伝達事項・役割分担を確認しています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	1	朝礼・終礼を日次で実施し、職員間での情報共有をおこなっています。	その日できなかった振り返りは、翌朝の打ち合わせで行っています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	支援から期間を開けずに記録を書くように心がけています。	
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	0	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0	お子様の支援について担当制はとっていませんが、児童発達支援管理責任者をはじめ教室内全てのスタッフがお子様の状態を把握し、チームでの支援を展開しています。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	0	他の児童発達支援事業所や医療機関と、必要に応じて連携した支援を行っています。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			該当者なし	

②4	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			該当者なし	
②5	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	0	相談支援員を通して、担当者会議など開き、児童発達支援計画や日々の支援記録などの情報共有を行っています。	
②6	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	0	ご希望に応じて、就学時の情報共有を文書や電話等で行っています。	
②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1	他の専門機関と連携し、助言や研修を受けています。	
②8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	3	地域交流については、限られた指導時間の中で実施が難しいことから、イベント等で利用者全員に画一的に実施することはしていません。個々のお子様の状態に応じて、必要があれば支援計画に位置づけた上で実施いたします。	
②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	2	他関係機関との会議等へ積極的に参加しています。	
③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	支援後のフィードバックの時間を毎回もち、保護者様と共通理解を図っています。	コロナの影響もあり、今年度は父母会の開催を見合わせました。コロナの状況を見ながら、来年度の開催を考えていきます。
③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	2	毎回の支援終了後に、保護者様へフィー	現在ペアレントトレーニングはあまりできていない

					ドバックの時間を設けています。	め、研修を積み実施してまいります。
保護者への説明責任等	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	契約時・契約更新時を中心に、できるだけ丁寧な説明を心がけています。	
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	0	児童発達支援計画について、児発管より説明をし、保護者様より同意をいただいています。	
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0	主に支援後のフィードバック時に相談に応じております。	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	2	主に支援後のフィードバック時に相談に応じております。	コロナの影響もあり、今年度は父母会の開催を見合わせました。コロナの状況を見ながら、来年度の開催を考えていきます。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0	SNSも活用し相談支援の体制について連絡し、周知いただいています。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	1	定期的な会報は発行していませんが、定期的にSNS等の配信を行っています。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	4	0	個人情報が記載された書類は鍵付きキャビネットに保管しています。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0	お子様・保護者様の状態に応じて、ICTやその他視覚的情報	

				などを活用して意思疎通・情報伝達等を実施しています。		
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3	個人情報に配慮し公開はしておりません。	
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	1	マニュアルを策定し、研修を実施しています。月1回の避難訓練を実施しています。	保護者様への周知が上手できていないので、周知していきます。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	1	月1度の訓練を行っています。	
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	3	1	都度お子様の状態を保護者様から確認させていただいております。	
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	2	都度お子様の状態を保護者様から確認させていただいております。	
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0	ヒヤリハット報告書を作成し、他事業所で事故等が起こった時は共通理解し、自事業所の事故の未然防止に努めています。	
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	1	毎年1月に職員研修を行っています。	
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	0	マニュアルを策定し、研修を実施しています。必要に応じて保護者様に丁寧に説明し児童発達支援計画にも記載しています。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2022年 2月 5日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」女池神明校

保護者等数（児童数）：8 回収数：8 割合：100 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6	2	0	0	個別支援なので十分だと思う。 個別で集中作業の時は、となりとの距離感が近いかなと思います が、賑やかに交流する場合はいいと思います。 狭いとは思いますが、中央区なので仕方ないと思います。	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	7	1	0	0	適切だと思う。 本人に合わせたカリキュラムを取り組んでいただき、 親としての要望も聞いてくれます。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	2	0	0	配慮されていると思う。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7	1	0	0	いつもきれいに保たれていて良いと思う。	
適切	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	7	1	0	0	しっかり作成されていると思う。	

な 支 援 の 提 供	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7	0	0	1	しっかり作成されていると思う	
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7	1	0	0	行われていると思う。	
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	7	1	0	0	工夫されていると思う。 子どもが興味を持った物で支援をいただいているので、毎回支援内容が違います。	
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	1	5		全員通常の保育園や認定こども園、幼稚園に通っているお子様なので、日常的に障害のない子どもと活動する機会がきりり以外でもある。
保 護 者 へ の 説 明 等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8	0	0	0	しっかりと説明されていると思う。	
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	8	0	0		しっかりと説明されていると思う。	
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	4	1	1	2	分からない。	現在ペアレントトレーニングはあまりできていない。今後研修を積み、家族支援プログラムにも取り組みたい。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	8	0	0	0	支援後は先生と話ができるので、できていると思う。	
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6	1	0	1	定期的に面談があるので、	

							行われていると思う。	
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	1	2	4	分からない。	コロナの影響もあり、今年度は父母会を開催しなかった。コロナの状況も見て、来年度の開催を考えていく。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	7	0	0	1	すぐに対応して頂いていると思う。	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7	0	0	1	配慮されていると思う。	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	4	2	0	2	発信されていると思う。	
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	7	0	0	1	分からない。	
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	4	1	1	2	契約時に説明と書面でいねいに話してもらいました。	
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	1	0	5	分からない。	月1度の訓練は行われているが、保護者への周知が上手くできていないので、周知していく。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	8	0	0	0	とても楽しみにしています。担当の先生がお気に入り、「今日は何を作るかな？」と楽しみにしています。機嫌が悪くても「きりり行くよ！」と言うこと	

						を聞いてくれます。	
②	事業所の支援に満足しているか	7	1	0	0	満足です。 みなさん、とても優しく相談も助言もしてくれて、本当に助かっています。 支援していただきたい内容を伝えてあるので、子供の成長に合わせて支援をして頂けると思います。	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。